

No 42

Japan Handball Association



社会人
 学生
 高専
 高体連
 中体連
 小学生

全国大会
 ブロック大会
 都道府県大会

男子
 女子

試合番号 **アリーナC-女10**

ハンドボール

年月日 2023 年 7 月 26 日 (水)
 大会名 令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会

公式記録用紙

A		大分高等学校						神戸星城高等学校						B		
北海道		函館市				函館アリーナコート				1回戦						
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m追加コラット	A	B		
	8	10		20	23											
7m得点/総数		A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7m得点/総数				
2/3		1 2 後3		10:49 10:37 26:05			1 2 後3			0/1						
No.	大分					G	W	2'	D	DR	No.	神戸星城				
1	阿波野 夢叶										2	黒木 優				
2	佐藤 日菜子										3	鶴谷 真涼				
3	古賀 美陽					6					4	瀬戸 心				
4	若林 璃音					3					5 c	矢野 真尋				
5 c	塩津 美空										6	村田 瑞季				
6	末廣 涼										9	和田 夏由美				
7	松本 美桜										11	後藤 結香				
8	外口 彩奈					3					12	由井 美羽				
9	高山 遥奈					7					17	中野 柚季				
10	塩津 心美					1					20	向 理緒				
11	羽田 千紘							2			21	伊原 泉				
12	菱川 菜由子										23	北 和香奈				
13	鶴 紫緒梨										24	中山 果凛				
14	入田 夏凜										30	豊島 愛海				
監督A	瀧元 泰昭										監督A	野路 良子				
役員B	杉安 優太										役員B	洪 徳顯				
役員C	友 春乃										役員C	野路 嗣治				

A **瀧元泰昭** チーム役員A署名 **野路良子** B

特記事項

レフェリー	河合 威延	臼井 健	河合威延 臼井健
TD	小林 亮太	傳法谷 芳子	小林亮太 傳法谷芳子
MO			

得点(G), 警告(W), 退場(2), 失格(D), 報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

No 41

令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会
高松宮記念杯第74回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

試合結果・戦評報告書

ハンドボール

競技日	2023年7月26日(水)		会場	函館アリーナ Cコート	
種別	女子		回戦	1回戦	
チーム名			チーム名		
大分高等学校			神戸星城高等学校		
得点合計	小計		小計	得点合計	
20	8	前半	10	23	
	12	後半	13		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評	
<p>9年連続11回目の出場となる大分高等学校対4大会連続6回目の出場となる神戸星城高等学校の1回戦が始まった。</p> <p>前半、神戸星城のスローオフでスタート。大分の3-2-1DFに対し、神戸星城は5-1DF。立ち上がり大分のパスミスから速攻で神戸星城No.24 中山のシュートで先制。すぐさま大分No.4 若林のシュートで追いついた。大分の2分退場もあり、序盤は神戸星城No.11 後藤のミドルシュートなどの3連続得点もあり、2-5と点差を広げ、たまたま大分がタイムアウトを要求。その後、両者堅いDFとキーパーの好セーブもあったが、その中で神戸星城は着実に点を取っていった。再度、大分の2分間退場もあったが、大分No.1 阿波野の好セーブでゴールを死守し、流れを渡さなかった。前半ラスト7分大分No.3 古賀の連続得点もあり6-9で神戸星城がタイムアウトを要求。その後も勢いに乗った大分は連続得点を挙げ、神戸星城は1点を追加し、前半は神戸星城の2点リード8-10で折り返した。</p> <p>後半、大分No.9 高山の1対1からのシュートで1点差に詰め寄るも、神戸星城No.5 矢野のゴールで流れを渡さず、各チームが取ったらと取り合うシーソーゲームが続いた。11-12で神戸星城が1点リード、No.17 中野の2連続得点があり、11-14と差を広げ、大分が2回目のタイムアウトを要求。その後大分No.9 高山、神戸星城No.9 和田を中心に得点を重ね、後半残り9分で17-20。ここで、大分No.8 外口とNo.4 若林の連続得点を決め、19-20となり、残り約5分で神戸星城が2回目のタイムアウトを要求。その後、セットプレーと速攻で神戸星城が2連続得点で再度19-22にまで差を広げ、大分が3回目のタイムアウトを要求。最後は神戸星城No.3 鍵谷の好セーブもあり、20-23で神戸星城に軍配が上がった。</p>	

記入者	清川 聡太
-----	-------